

3～6年 クラブ活動（インドアクラブ）

1 日時・場所

| | | | |
|----|----------------------------|----|------------|
| 日時 | 令和元年9月4日（水） 5・6時間目（クラブ） | 場所 | 智恵文小学校 図工室 |
|----|----------------------------|----|------------|

2 学年・活動・ねらい

| | |
|-------|--|
| 学年 | 第3～6学年 |
| クラブ活動 | インドアクラブ |
| ねらい | 身の回りにある自然のものを使って工作をすることにより，智恵文の自然の素晴らしさに気付く。 異学年が交流し，安全に楽しく活動する |

3 講師・地域連携機関・内容等

| | |
|----|--|
| 講師 | なよろ野の花の会会長 上野 紘一 |
| 内容 | 小枝や木の実（智恵文の自然物）などを使って，工作をする。 ※（打合せ）校内展示の後，支所にも展示させてもらってはどうか |

4 当日までの日程

| | 学校(窓口・担当者) | 地域のコーディネーター |
|----------------------|--|---|
| 5月 下旬 ～ | <ul style="list-style-type: none"> 5/15に第1回クラブ活動（年間予定） インドアクラブから工作の要望 | <ul style="list-style-type: none"> 支所に工作展示…学校に紹介 |
| | <ul style="list-style-type: none"> コーディネーターから校長へ情報提供 教育課程との整合性を点検 校長と教頭による内容の点検と共有 校長と地域コーディネーターによる，実施の有無と規模，該当するクラブの目標と活動の確認と決定 | |
| 7月 月上旬 ～ 8月 | <ul style="list-style-type: none"> 教頭が講師に連絡 教頭と講師，クラブ担当者が打合せ | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 校長と地域コーディネーターは，進捗状況と依頼先の状況を確認 校長と地域コーディネーターは相互に情報を提供し共有 教育課程との整合性を点検 校長と教頭による内容の点検と共有 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 教務教育計画係は打合せをもとに計画を作成。教頭に提出し，活動について報告する。 職員会議で全職員に周知 | |

| | | |
|------|---|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> 講師とクラブ担当者に活動計画を配付。 クラブ担当者と活動について確認。 | |
| 9月4日 | クラブ活動 （身のまわりにある自然のものを使った工作作り） | |
| 後日 | <ul style="list-style-type: none"> 講師に礼状送付（教頭） クラブ作品展示 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 校長と地域コーディネーターは相互に情報を提供し共有 教育課程との整合性を点検 校長と教頭による内容の点検と共有 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 職員会議で全職員によるふり返りと次年度向けの検証 | |

5 当日の日程・学習の流れ

| 時間 | クラブ活動（学校） | 児童（クラブ活動） | 講師・地域連携機関等 |
|----------------|---|---|--|
| （給食後） | 図工室の準備 | 給食の片付け・休憩 図工室移動 | ・講師来校 |
| 13:25 13:30 | <ul style="list-style-type: none"> あいさつ 講師紹介 クラブ活動内容 | ・あいさつ | <ul style="list-style-type: none"> あいさつ 工作について |
| 13:40 | 工作 | | |
| 14:50 15:00 | <ul style="list-style-type: none"> 振り返り お礼・あいさつ | <ul style="list-style-type: none"> 振り返り お礼・あいさつ | <ul style="list-style-type: none"> まとめ あいさつ |

6 準備するもの等

- ・ポンド
- ・飾り付けで使用するものは、児童各自が用意する。
- ・自然のもの（どんぐりなど）を使う。
- ・完成した作品に入れるたからものを用意する。

7 実施後



- 自然を生かした工作について、児童だけでは思い付かない発想を講師の助言で広げることができた。
- グループで一つの作品を作った。協力して作ることができた。次回は1人で一つの作品を作らせたい。
- 時期が早く、どんぐりや木の実があまりなかった。秋に拾っておき、冬に工作を行うと、智恵文の豊かな自然を生かした工作ができる（計画の工夫が必要）。